

教員公募要領



京都工芸繊維大学
Kyoto Institute of Technology

| | |
|------------|--|
| 公募開始日 | 令和4年9月8日 |
| 求人件名 | 京都工芸繊維大学 助教 の採用 (テニュアトラック) |
| 機関名 | 京都工芸繊維大学 |
| 機関URL | https://www.kit.ac.jp/ |
| 採用組織名 | 分子化学系 |
| 機関種別 | 国立大学 |
| 公募のURL | https://www.kit.ac.jp/uni_index/teacher-employment/ |
| 担当業務・担当科目等 | 別紙のとおり |
| 勤務地 (住所) | 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎) |
| 募集人員 | 別紙のとおり |
| 採用予定日 | 令和5年3月1日又は遅くとも令和5年4月1日 |
| 研究分野 | 別紙のとおり |
| 職種 | 助教 |
| 勤務形態 | 常勤 (テニュアトラック) |
| 任期 | 任期あり (5年) ・再任不可 |
| 勤務地 (都道府県) | 京都府 |
| 応募資格 | 次のいずれにも該当する者 <ul style="list-style-type: none"> ・公募する研究分野又は関連する分野で博士の学位を有する者又は研究上の業績が博士の学位を有する者に準ずると認められる者 ・公募する専門分野に関して顕著な研究・教育業績を有し、熱心な研究・教育意欲を有する者 <p>※その他の応募資格は、別紙のとおり</p> |
| 待遇 | 本募集により採用された場合の給与は年俸制となります。詳細は、本学規則集(下記サイト)をご確認ください。 https://www.kit.ac.jp/01/prescriptions/aggregate/catalog/index.htm 任期：5年を原則とするテニュアトラック制度 独立した研究室が運営できるよう、テニュアトラック期間中の研究費支援、研究スペースの確保、メンターの配置等の支援を行います。 着任後、年次評価、中間審査、最終審査(テニュア審査)を行います。 最終審査の結果、合格すればテニュアポストである准教授に昇任します。中間審査で研究計画の進捗が早く、かつテニュアトラック期間中の研究業績が特に優れている場合は、その時点でテニュアポストである准教授としての適格性について審査する場合があります。 なお、最終審査でテニュアポストである准教授への昇任が見送られた場合は、テニュアトラック期間の満了をもって労働契約期間を終了します。 また、テニュアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業等により研究活動が滞ることがないように研究支援員を配置すると共に、休業期間に応じテニュアトラック期間を延長することができます。 研究環境：採用者には研究スペースと1年目にスタートアップ研究費(300万円)、2年目以降は学内基準に基づく研究費が提供され、エフォート率65%の研究時間がテニュアトラック期間にわたり保障されます。 最終審査：採用者はテニュアトラック期間満了の6月前までに最終審査及びテニュア授与の判定を行い、合格者は准教授として昇任します。 最終審査は中間審査結果、直近の年次評価結果及び改善要求した事柄の是正状況を確認のうえ、研究計画の進捗状況、テニュアトラック期間中の研究業績及びテニュアポストである准教授の適格性について審査を行います。 |
| 応募締切日 | 令和4年10月28日(金)(17時必着) |
| | 履歴書(上記「公募のURL」より「様式1」をダウンロード) |
| | 研究業績リスト(上記「公募のURL」より「様式2」をダウンロード。「著書」「学术论文(査読あり)」「参考論文(査読なし)」「口頭発表」「その他」に分類すること) |
| | 応募先の組織名が確認できる書類(上記「公募のURL」より「様式3」をダウンロード) |

教員公募要領



京都工芸繊維大学
Kyoto Institute of Technology

| | |
|---------|---|
| 応募書類 | 競争的資金獲得状況一覧（年度，研究テーマ，資金名称，代表者・分担者の別，金額などを記載すること。これまでに競争的資金の獲得実績が無い場合はその旨を記載） |
| | 主要な著書，論文5編（別刷り，コピー可）各1部 |
| | 教育に関するこれまでの経過と今後の計画（1000字程度の日本語または500語程度の英語） |
| | 研究に関するこれまでの経過と今後の計画（1000字程度の日本語または500語程度の英語） |
| | 応募者について照会が可能な方2名の氏名と連絡先（電子メールアドレスも含む） |
| | その他必要な応募書類は、別紙のとおり。 |
| 選考方法 | 書類審査を通過した候補者には面接を行います。また，選考の過程で追加書類の提出をお願いすることがあります。なお，これらの場合において旅費、郵送料等の費用は応募者の負担となります。 |
| 問い合わせ先 | 京都工芸繊維大学 人事労務課 問い合わせ先のメールアドレスについては、別紙のとおり。 |
| 応募書類提出先 | 上記の書類の電子データ（PDF形式）を京都工芸繊維大学人事労務課までEメールにて提出してください。提出先のメールアドレスについては、別紙のとおり。 ※メールアドレスの件名は、「京都工芸繊維大学分子化学系（助教）応募書類の送付」としてください。 なお、電子データの容量の都合上、電子媒体に格納して郵送する場合は以下の住所まで送付してください。 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎 京都工芸繊維大学 人事労務課 ※封筒に「分子化学系（助教）応募書類」と朱書き、簡易書留または宅配便にて送付して下さい。 |
| 備考 | 応募書類は返却しません。また、応募書類および書類に記載された情報は本選考の用途以外には使用しません。 |
| | 本学は、多様な人材が活躍できるダイバーシティ研究環境の実現に向けて取り組んでおり、男女共同参画社会基本法および男女共同参画基本計画の趣旨を尊重し、男女雇用機会均等法第5条に則した人事を行っています。 |
| | 別紙に記載の担当業務以外に、入試等の大学運営、社会貢献等に関わる業務も担っていただきます。 |
| | 適任者がいない場合には、今回の採用を見送ることもあります。 ※その他の特記事項については、別紙のとおり。 |

| No. | 採用組織名 | 募集人員 | 担当業務・担当科目等 | 研究分野 | 応募資格 | 応募書類 | 備考 | 問い合わせ・提出先 |
|-----|-------|------|---|--|--|------|---|--|
| T-1 | 分子化学系 | 1名 | <p>① 担当業務: 分析化学、生体関連化学を学術基盤とした先導的研究の実施 上記専門分野における学生指導。</p> <p>担当科目: 「分析化学」に関連した学部、大学院科目</p> | <p>大分類:化学 小分類:複合化学</p> | <p>機能物質化学専攻では、生命活動に関わる多様な生体分子の構造と機能を計測・解析し、その知見を基にした物質の機能制御、機能物質の創製と応用・生産ならびに先導的分析計測法の開発を志向した研究・教育を実施している。 応募者は本専攻において、広い意味での分析化学に関する基礎研究または応用研究を通じて、化学と生命科学の学際領域で活躍できる人材であること。</p> | | <p>応募の際は、「様式3」(応募先の組織名が確認できる書類)に、該当する研究分野名のいずれかを記載してください。</p> <p>〔研究分野名〕 ① バイオ分析化学 ② 生物化学</p> | <p>jinji- saiyou14@jim.kit.ac.jp</p> |
| | | | <p>② 担当業務: 生物化学(生体関連化学、生化学、分子生物学、生物工学を含む)を学術基盤とした先導的研究の実施 上記専門分野における学生指導。</p> <p>担当科目: 「生化学」に関連した学部、大学院科目</p> | <p>大分類:化学 小分類:複合化学</p> <p>大分類:複合領域 小分類:生体分子科学</p> <p>大分類:農学 小分類:農芸化学</p> | <p>機能物質化学専攻では、生命活動に関わる多様な生体分子の構造と機能を計測・解析し、その知見を基にした物質の機能制御、機能物質の創製と応用・生産ならびに先導的分析計測法の開発を志向した研究・教育を実施している。 応募者は本専攻において、広い意味での生命科学に関する基礎・応用研究を通じて、社会全体のQuality of Life(QOL)の向上、持続可能な社会の構築、革新的ものづくり技術、次世代型バイオエネルギー等の課題の解決に大きく貢献できる人材であること。</p> | | | |